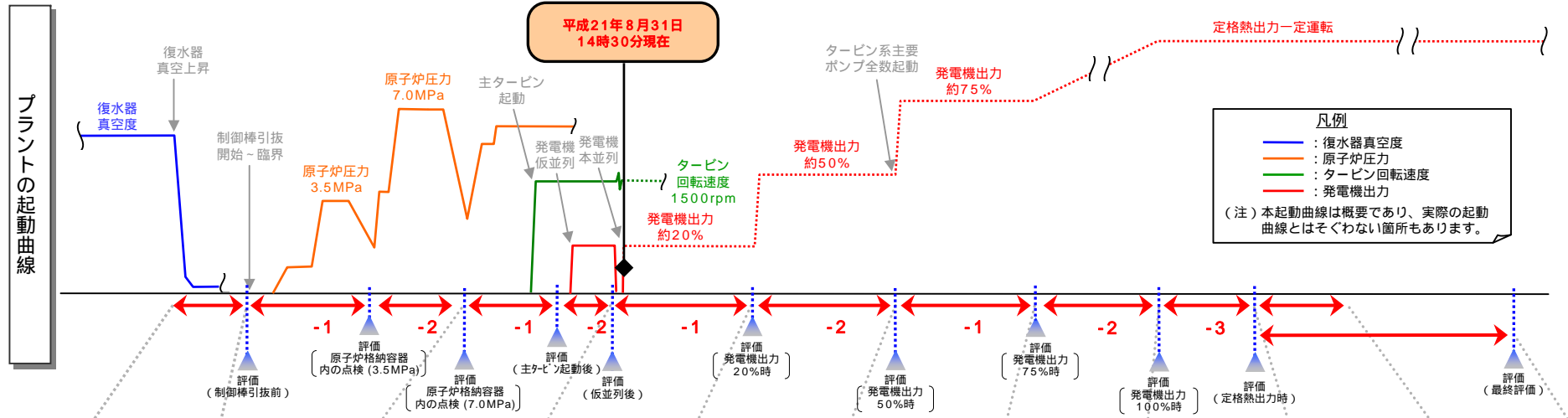


柏崎刈羽原子力発電所6号機 新潟県中越沖地震後のプラント全体の機能試験に係る進捗状況

別紙

平成21年8月31日
東京電力株式会社



| ホールドポイント | 真空上昇時の点検 | 原子炉昇圧時 (約3.5MPa、約7.0MPa) の点検 | 主タービン、主発電機の起動時の点検・試験 | 発電機出力20%時の点検・試験 | 発電機出力50%時の点検・試験 | 発電機出力75%時の点検・試験 | 発電機出力100%時の点検・試験 | 定格熱出力時の点検・試験 | 定格熱出力一定運転時の点検・試験 | 最終の健全性評価 |
|----------|--|---|--|---|--|---|---|---|--|--|
| | 主な試験・確認項目* | プラント運転パラメータ採取 主復水器インリーク検査 | プラント運転パラメータ採取 原子炉格納容器内の点検 蒸気系・給水系配管・機器漏えい確認 配管熱膨張の影響確認 配管振動確認 原子炉隔離時冷却系設備点検 | プラント運転パラメータ採取 主タービン運転状態確認 主発電機総合機能検査 主変圧器、所内変圧器の作動状態の確認 | プラント運転パラメータ採取 蒸気系配管・機器漏えい確認 配管振動確認 蒸気タービン性能試験(その2) | プラント運転パラメータ採取 蒸気系配管・機器漏えい確認 配管振動確認 | プラント運転パラメータ採取 配管振動確認 巡視点検 | プラント運転パラメータ採取 | プラント運転パラメータ採取 蒸気系配管・機器漏えい確認 配管振動確認 巡視点検 | 原子炉隔離時冷却系機能試験 気体廃棄物処理系機能試験 蒸気タービン性能試験(その1) |
| 主な評価内容 | 【復水器真空度上昇後の評価】 制御棒引抜前において、機器(主復水器等)が健全であることを確認する。 | -1【原子炉昇圧(約3.5MPa)後の評価】 原子炉圧力約3.5MPaにおいて、初めて入熱することで状態が変化する原子炉格納容器内の機器・配管等が健全であることを確認する。 -2【原子炉昇圧(約7.0MPa)後の評価】 原子炉圧力定格圧力約7.0MPaにおいて、原子炉格納容器内の機器・配管等が健全であることを確認する。 | -1【主タービン起動後の評価】 原子炉からの蒸気を主タービンに供給し、無負荷での主タービンの運転状態が健全であることを確認する。 -2【主発電機仮並列後の評価】 主発電機を系統に仮並列した後、原子炉出力を上昇させて、発電機出力約20%において主発電機・主変圧器等の健全性を確認する。 | -1【発電機出力約20%到達後の評価】 主発電機を系統に本並列した後、発電機出力約20%において、プラントが健全であることを確認する。 -2【発電機出力約50%到達後の評価】 原子炉の出力を上昇させ、発電機出力約50%において、プラントが健全であることを確認する。 | -1【発電機出力約75%到達後の評価】 原子炉の出力を上昇させ、発電機出力約75%において、プラントが健全であることを確認する。 -2【発電機出力約100%到達後の評価】 原子炉の出力を上昇させ、発電機出力約100%において、プラントが健全であることを確認する。 | -3【定格熱出力到達後の評価】 原子炉の出力を上昇させ、定格熱出力において、プラントが健全であることを確認する。 | 【系統機能試験完了】 定格熱出力一定運転状態において3項目の系統機能試験を行い、系統機能が健全であることを確認する。 | 【最終評価】 プラントの運転状態を継続的に監視することで、プラント運転状態が安定しており健全であることを確認する。また、最終的にプラント全体の機能試験の結果を評価する。 | | |
| 評価結果 | 平成21年8月26日 評価: 良 | -1 平成21年8月28日 評価: 良 -2 平成21年8月29日 評価: 良 | -1 平成21年8月30日 評価: 良 -2 平成21年8月31日 評価: 良 | | | | | | | |

* 凡例
 : 地震後の健全性確認のため、特別に実施する項目
 : 地震後の健全性確認のため、内容・範囲等を追加した項目
 : 通常のプラント起動時にも実施している項目
 □ : 前回お知らせ(平成21年8月30日)からの進捗箇所

評価結果 -1 主タービン起動後の評価

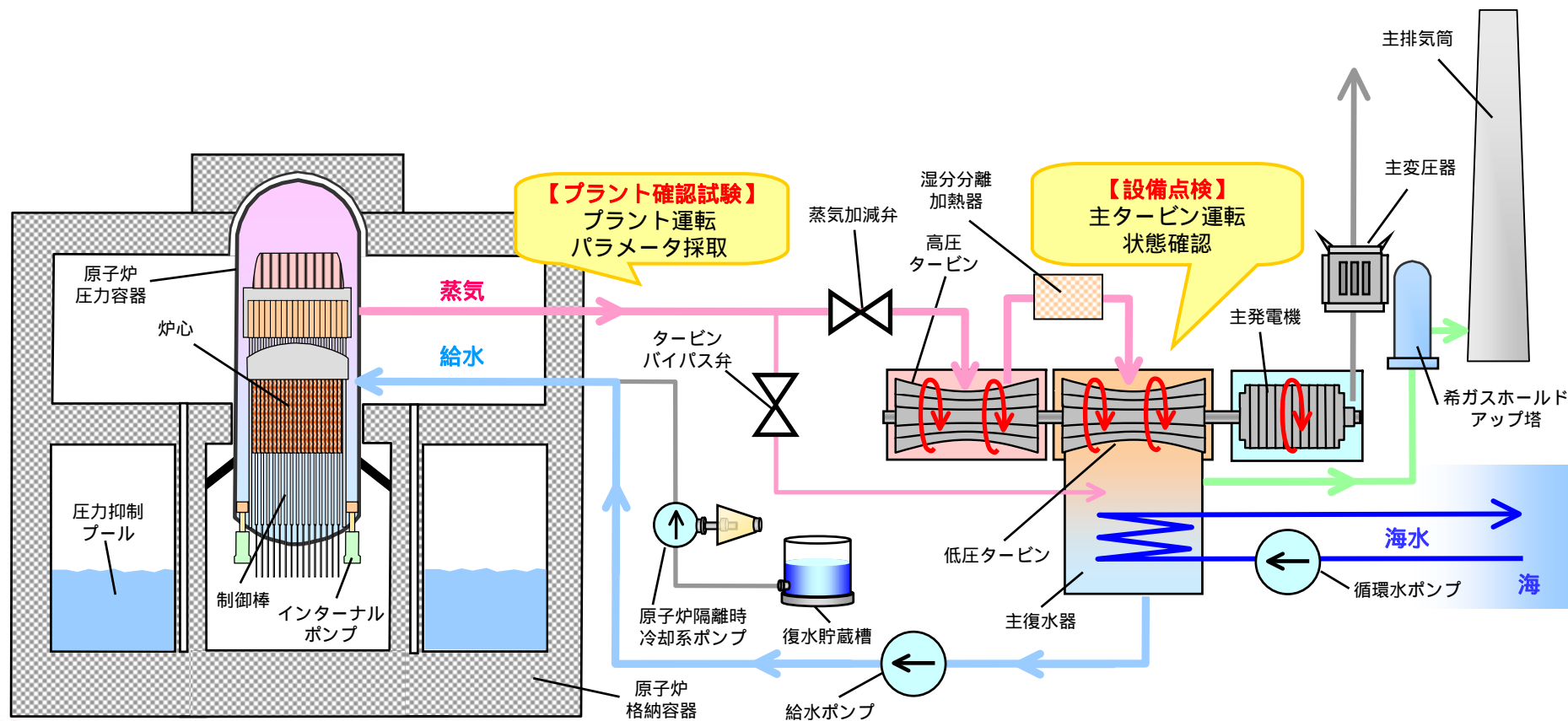
平成21年8月30日 評価完了：良

< 主な評価内容 >

原子炉からの蒸気を主タービンに供給し、無負荷での主タービンの運転状態が健全であることを確認する。

< 主な試験・確認項目 >

プラント運転パラメータ採取、主タービン運転状態確認 等



評価結果 -2 主発電機仮並列後の評価

平成21年8月31日 評価完了：良

< 主な評価内容 >

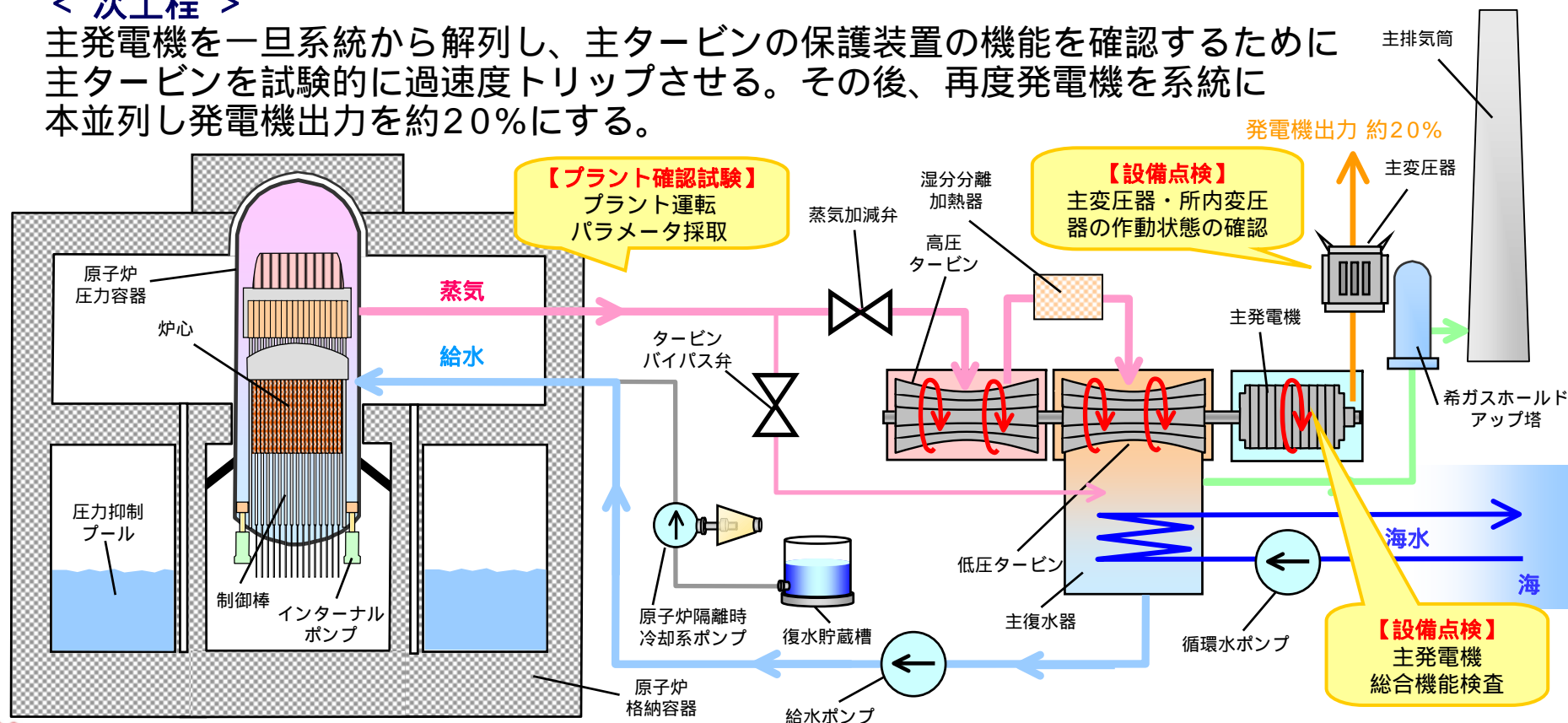
主発電機を系統に仮並列した後、原子炉出力を上昇させて、発電機出力 約20%において主発電機・主変圧器等の健全性を確認する。

< 主な試験・確認項目 >

プラント運転パラメータ採取、主発電機総合機能検査、主変圧器・所内変圧器の作動状態の確認 等

< 次工程 >

主発電機を一旦系統から解列し、主タービンの保護装置の機能を確認するために主タービンを試験的に過速度トリップさせる。その後、再度発電機を系統に本並列し発電機出力を約20%にする。



次工程 -1 発電機出力約20%到達後の評価

< 主な評価内容 >

主発電機を系統に本並列した後、発電機出力 約20%において、プラントが健全であることを確認する。

< 主な試験・確認項目 >

プラント運転パラメータ採取、蒸気系配管・機器漏えい確認、配管振動確認、蒸気タービン性能試験（その2）等

